

国土数值情報（工業用地）

製品仕様書

第 1.1 版

平成 21 年 3 月

国土交通省国土計画局

目 次

1 概覧.....	1
1.1 空間データ製品仕様書の作成情報.....	1
1.2 目的.....	1
1.3 適用範囲.....	1
1.4 引用規格.....	1
1.5 用語と定義.....	2
1.6 略語.....	2
1.7 参考資料.....	2
2 適用範囲.....	3
2.1 適用範囲識別.....	3
2.2 階層レベル.....	3
3 データ製品識別.....	4
3.1 製品仕様識別.....	4
4 データ内容および構造.....	5
4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書.....	5
4.1.1 国土数値情報パッケージ.....	5
4.1.2 国土数値情報応用スキーマパッケージ.....	6
4.1.3 国土数値情報データ集合パッケージ.....	7
4.1.4 土地関連パッケージ.....	10
4.1.5 工業用地パッケージ.....	11
4.1.6 共通パッケージ.....	20
4.2 空間スキーマプロファイル.....	20
4.3 時間スキーマプロファイル.....	20
5 参照系.....	20
5.1 座標参照系.....	20
5.2 時間参照系.....	20
6 データ品質.....	21
7 データ製品配布.....	24
7.1 配布書式情報.....	24
7.2 配布媒体情報.....	24
8 メタデータ.....	25
1 符号化仕様作成のためのタグ一覧.....	27
2 符号化仕様.....	29

1 概覧

1.1 空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名：国土数値情報（工業用地）製品仕様書 第 1.1 版
- 日付：平成 21 年 3 月 27 日
- 作成者：国土交通省 国土計画局 参事官室
- 言語：日本語
- 分野：土地台帳計画
- 文書書式：PDF

1.2 目的

本製品仕様書は、地理情報標準プロファイル（JPGIS）第 1.0 版に可能な限り準拠した国土数値情報データを構築することを目的とするとともに、本空間データ製品仕様書に基づく空間データ製品から、一定規模以上の既存工業団地及び大規模工業施設の現状を網羅的に把握することにより、工業団地の利活用の検討や土地利用計画の策定、産業振興に関する施策の検討等に資することを目的とする。

1.3 適用範囲

本製品仕様書が適用されるデータの適用範囲は以下のとおりである。

- 空間範囲
日本全国
- 時間範囲
2009 年 3 月 27 日時点

1.4 引用規格

本製品仕様書は以下の規格から引用する。

- 地理情報標準プロファイル（JPGIS）第 1.0 版 平成 17 年 3 月

1.5 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 1.0 版「附属書 5 (規定) 定義」

- 工業用地

工業用地データにおける工業用地とは、工業団地開発による敷地面積 10ha 以上の用地 (工業団地) 及び単独立地による敷地面積 10ha 以上の用地 (単独工場用地) をいう。

- 工業団地

公共、民間等の開発主体が一定の区画 (埋立地等を含む) の土地に必要な基盤を整備して工業用地として開発し、工場などを計画的に立地させた地域をいう。もっぱら、流通業が立地する流通団地は含まない。

- 単独工場用地

企業が自社事業所のために開発または購入した工業団地外の工場用地をいう。単独工場用地の敷地面積は 10ha 以上と定めているが、隣接する単独工場用地との敷地面積の合計が 10ha 以上の場合も含める。

1.6 略語

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

- JPGIS Japan Profile for Geographic Information Standards
- JMP Japan Metadata Profile
- UML Unified Modeling Language
- URL Uniform Resource Locator

1.7 参考資料

国土数値情報で使用されるコードリスト等については、以下のサイトを参照。

国土数値情報ダウンロードサービス (JPGIS 準拠データ)

URL : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

2 適用範囲

本製品仕様書の適用範囲は次のとおりとする。

2.1 適用範囲識別

国土数値情報（工業用地）製品仕様書第 1.1 版適用範囲

2.2 階層レベル

データ集合

3 データ製品識別

3.1 製品仕様識別

本製品仕様書に基づくデータ製品の識別は、次のとおりとする。

■ 空間データ製品の名称

国土数値情報（工業用地）データ

■ 日付

平成 21 年 3 月 27 日

■ 問合せ先

国土交通省 国土計画局 参事官室

電話 : 03-5253-8111 FAX : 03-5253-1569

Email : nsdijp@mlit.go.jp

■ 地理記述

全国

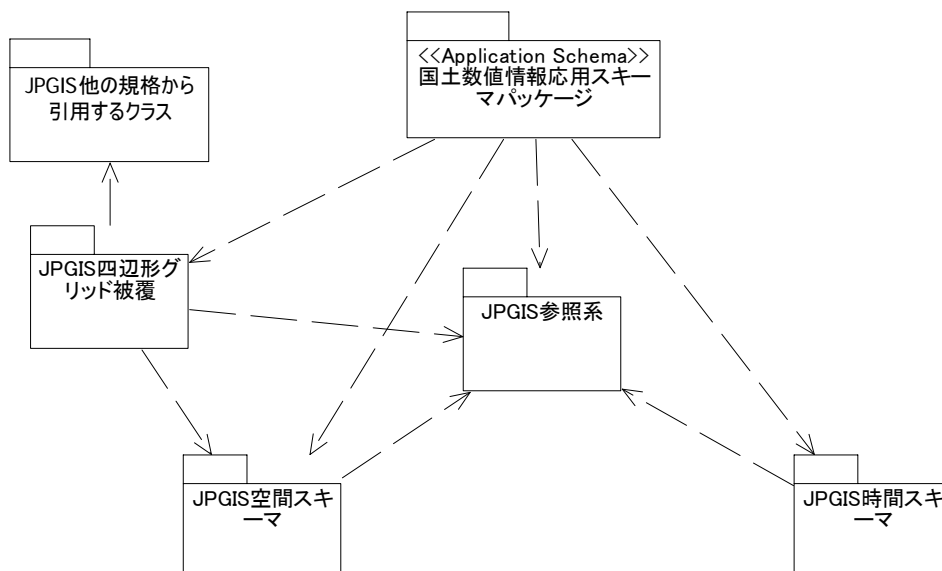
4 データ内容および構造

本章では、本製品仕様書が扱う国土数値情報に関する UML クラス図および定義文書を記す。

4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書

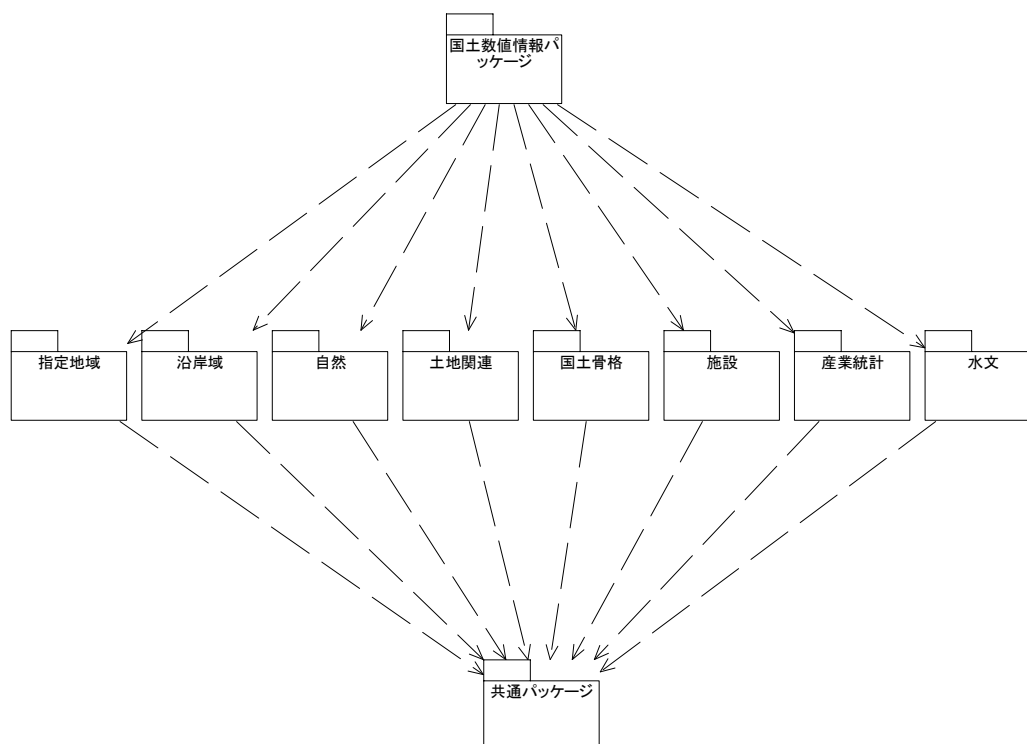
4.1.1 国土数値情報パッケージ

このパッケージは、国土数値情報のパッケージ構成をまとめたものである。国土数値情報応用スキーマで使用する JPGIS の型に関するパッケージと国土数値情報応用スキーマパッケージの依存関係を示す。



4.1.2 国土数値情報応用スキーマパッケージ

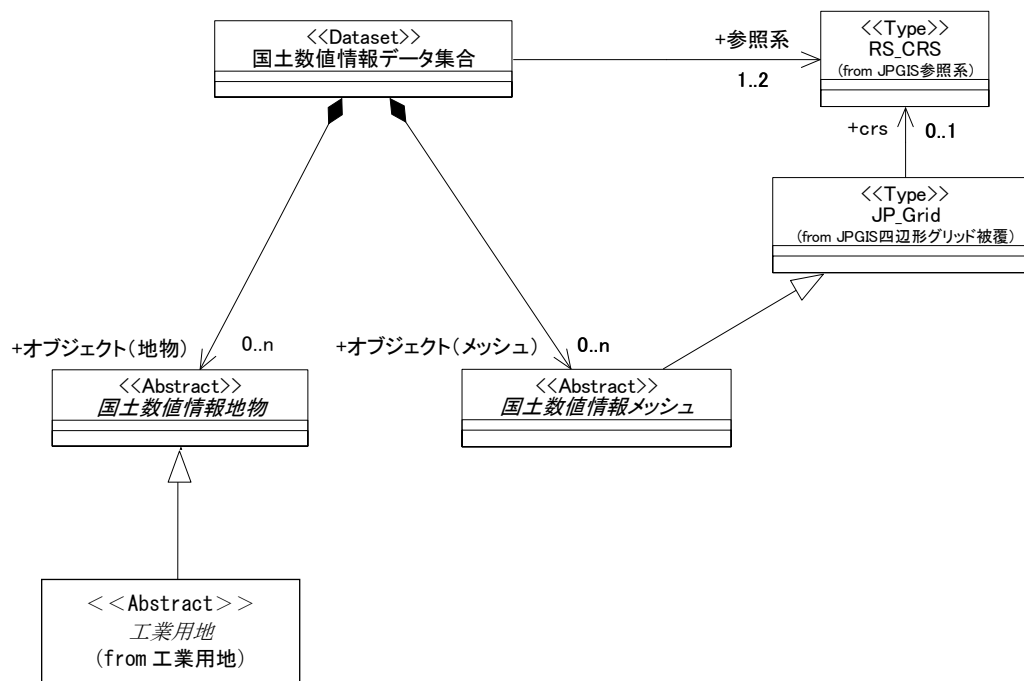
このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報データ集合パッケージおよび、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリストをまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物およびメッシュは、指定地域や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。



4.1.3 国土数値情報データ集合パッケージ

このパッケージは、国土数値情報データ応用スキーマに含まれる全ての地物およびメッシュをまとめたものである。

4.1.3.1 応用スキーマクラス図



4.1.3.2 応用スキーマ文書

国土数値情報データ集合

1 つ以上の国土数値情報地物あるいは国土数値情報メッシュから構成される国土数値情報のデータセット。

上位クラス：なし

抽象/具象区分：具象

関連役割：

参照系[1..2]：RS_CRS

座標参照系および時間参照系への参照。座標参照系については必ず記載する。

オブジェクト（地物）[0..n]：国土数値情報地物

国土数値情報データ集合を構成する国土数値情報地物。

オブジェクト（メッシュ）[0..n]：国土数値情報メッシュ

国土数値情報データ集合を構成する国土数値情報メッシュ。

国土数値情報地物

国土交通省国土計画局参事官室が提供する国土数値情報ベクトルデータ項目。

上位クラス：なし

抽象/具象区分：抽象

国土数値情報メッシュ

国土交通省国土計画局参事官室が提供する国土数値情報メッシュデータ項目。

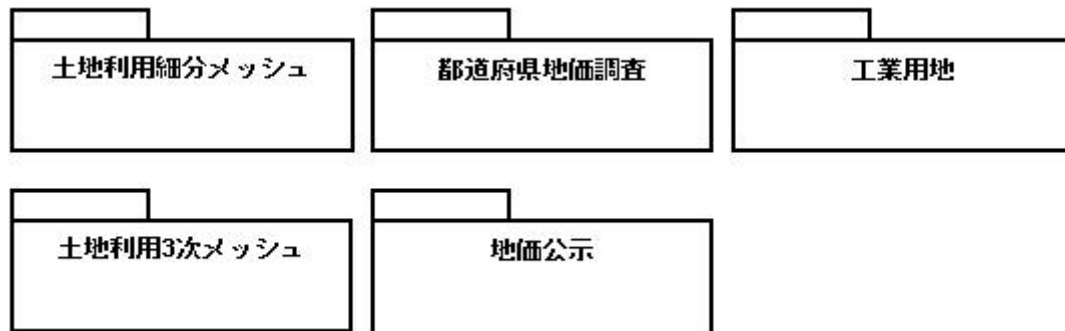
上位クラス：JP_Grid

抽象/具象区分：抽象

4.1.4 土地関連パッケージ

このパッケージは、土地利用、地価、工業用地パッケージ等、土地に関するパッケージをまとめたものである。

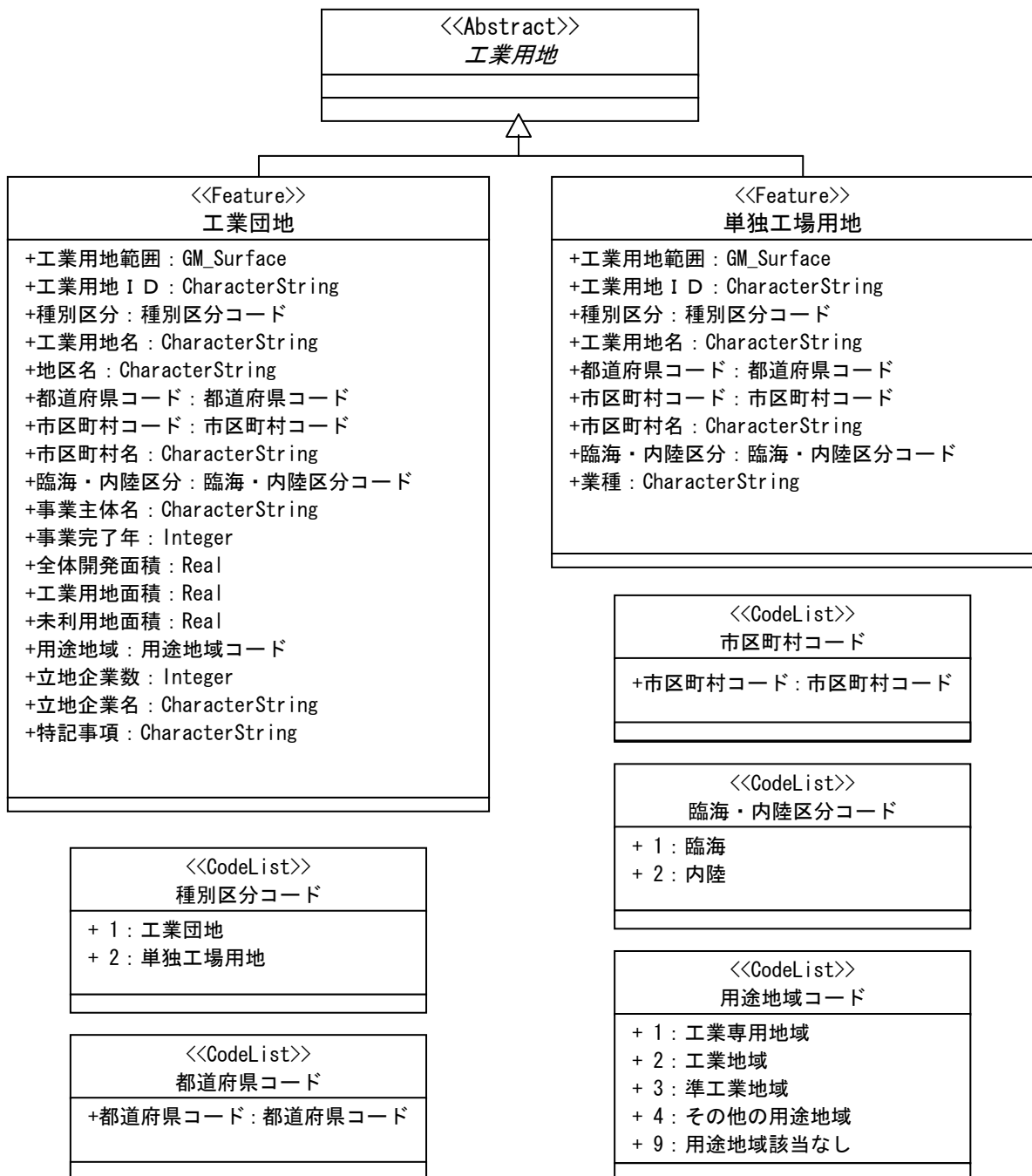
4.1.4.1 応用スキーマクラス図



4.1.5 工業用地パッケージ

このパッケージは、既存の工業団地及び大規模な工業施設の現状を把握すると共に、工業団地の利活用の検討や計画立案の基礎資料とするため、工業団地及び単独工場用地の空間的な位置を表現する工業用地データのパッケージ構成をまとめたものである。

4.1.5.1 応用スキーマクラス図



4.1.5.2 応用スキーマ文書

工業用地

工業団地開発による敷地面積 **10ha** 以上の用地（工業団地）及び単独立地による敷地面積 **10ha** 以上の用地（単独工場用地）。

上位クラス：国土数値情報地物

抽象/具象区分：抽象

工業団地

工業団地開発による敷地面積 **10ha** 以上の用地（工業団地）。

上位クラス：工業用地パッケージ：工業用地

抽象/具象区分：抽象

属性

工業用地範囲：GM_Surface

当該工業用地の範囲。

■ 定義域

複数の都府県にまたがらない。

■ 取得基準

面で取得する。

図形の起終点は一致させる。

工業用地 I D：CharacterString

工業用地の識別番号。

都道府県コード+用地番号+地区番号の 7 桁の番号。

■ 定義域

都道府県コード：共通パッケージを参照

用地番号：000～999 都道府県内で一意の番号

地区番号：00～99

種別区分 : 種別区分コード

当該工業用地の種別区分。

■ 定義域

以下の値を取る。

1 : 工業団地

2 : 単独工場用地

■ 取得基準

工業団地開発による敷地面積 10ha 以上の工業団地

工業用地名[0..1] : `CharacterString`

当該工業用地の工業団地または単独工場の名称。

■ 定義域

256byte 以内

地区名 [0..1] : `CharacterString`

当該工業団地が地区区分されている場合の地区名称。

■ 定義域

256byte 以内

都道府県コード : 都道府県コード

当該工業用地が属する行政コード。

■ 定義域

共通パッケージを参照

■ 取得基準

2009 年 4 月 1 日公表値を使用する。

市区町村コード : 市区町村コード

当該工業用地が属する行政コード。

■ 定義域

共通パッケージを参照

■ 取得基準

2009 年 4 月 1 日公表値を使用する。

市区町村名 : `CharacterString`

当該工業用地が属する市区町村名。

■ 定義域

256byte 以内

■ 取得基準

2009 年 4 月 1 日公表値を使用する。

臨海・内陸区分 : 臨海・内陸区分コード

当該工業用地が存在する位置。

■ 定義域

以下の値を取る。

1 : 臨海

2 : 内陸

事業主体名 [0..1] : CharacterString

当該工業団地の開発事業主体。

■ 定義域

256byte 以内

事業完了年 [0..1] : Integer

当該工業団地開発の事業完了年もしくは完了予定年。

■ 定義域

西暦年

全体開発面積 [0..1] : Real

当該工業団地の開発面積

■ 定義域

小数点以下第 1 位まで表示

■ 取得基準

原則として開発された公表面積とする。公表面積が無い場合には記載しない。

面積は ha 単位とし、小数点 2 位を四捨五入する。

工業用地面積 [0..1] : Real

当該工業団地における工業用地の面積。

■ 定義域

小数点以下第 1 位まで表示

■ 取得基準

原則として公表面積とする。公表面積が無い場合には記載しない。

面積は ha 単位とし、小数点 2 位を四捨五入する。

未利用地面積 [0..1] : Real

当該工業団地における未利用地の面積。

- 定義域

小数点以下第 1 位まで表示

- 取得基準

原則として公表面積とする。公表面積が無い場合には記載しない。

面積は ha 単位とし、小数点 2 位を四捨五入する。

用途地域 [0..3] : 用途地域コード

当該工業団地に指定されている用途地域。

- 定義域

以下の値を取る。

1 : 工業専用地域

2 : 工業地域

3 : 準工業地域

4 : その他の用途地域

9 : 用途地域該当なし

- 取得基準

複数の用途地域にまたがる場合、主たる 3 値を記載する。

立地企業数 : Integer

当該工業団地に立地する企業数。

立地企業名 [0..10] : CharacterString

当該工業団地に立地する企業名及び組合名（例えば、山形工業団地山形金属加工組合）。

- 定義域

256byte 以内

複数の場合、主たる 10 企業名を記載する。

特記事項 [0..1] : CharacterString

当該工業団地について、開発経緯や特色など特別に記載しておかなければならない事項。

- 定義域

400byte 以内

- 取得基準
自由記載

単独工場用地

単独立地による敷地面積 10ha 以上の用地（単独工場用地）。

上位クラス：工業用地パッケージ：工業用地

抽象/具象区分：抽象

属性

工業用地範囲：GM_Surface

当該工業用地の範囲。

- 定義域
複数の都府県にまたがらない。
- 取得基準
面で取得する。
図形の起終点は一致させる。

工業用地 I D：CharacterString

工業用地の識別番号。

都道府県コード+用地番号+地区番号の 7 桁の番号。

- 定義域
都道府県コード：共通パッケージを参照
用地番号：000～999 都道府県内で一意の番号
地区番号：00～99

種別区分：種別区分コード

当該工業用地の種別区分。

- 定義域
以下の値を取る。
1：工業団地
2：単独工場用地
- 取得基準
単独立地による敷地面積 10ha 以上の単独工場用地

工業用地名[0..1] : CharacterString

当該工業用地の単独工場の名称。

■ 定義域

256byte 以内

都道府県コード : 都道府県コード

当該工業用地が属する行政コード。

■ 定義域

共通パッケージを参照

■ 取得基準

2009年4月1日公表値を使用する。

市区町村コード : 市区町村コード

当該工業用地が属する行政コード。

■ 定義域

共通パッケージを参照

■ 取得基準

2009年4月1日公表値を使用する。

市区町村名 : CharacterString

当該工業用地が属する市区町村名。

■ 定義域

256byte 以内

■ 取得基準

2009年4月1日公表値を使用する。

臨海・内陸区分 : 臨海・内陸区分コード

当該工業用地が存在する位置。

■ 定義域

以下の値を取る。

1 : 臨海

2 : 内陸

業種 [0..1] : 業種コード

当該単独工場用地に立地する企業の主な業種。

■ 定義域

256byte 以内

特記事項 [0..1] : CharacterString

当該単独工場用地について、開発経緯や特色など特別に記載しておかなければならない事項。

■ 定義域

400byte 以内

■ 取得基準

自由記載

種別区分コード

工業団地：公共、民間等の開発主体が一定の区画（埋立地等を含む）の土地に必要な基盤を整備して工業用地として開発し、工場などを計画的に立地させた地域をいう。もっぱら、流通業が立地する流通団地は含まない。

単独工場用地：単独工場用地とは、企業が自社事業所のために開発または購入した工業団地外の工場用地をいう。単独工場用地の敷地面積は10ha以上と定めているが、隣接する単独工場用地との敷地面積の合計が10ha以上の場合も含める。

■ 定義域

1：工業団地

2：単独工場用地

臨海・内陸区分コード

臨海：当該工業用地が立地する周辺に、船を着岸する施設がある場合をいう。

内陸：臨海以外をいう。

■ 定義域

1：臨海

2：内陸

用途地域コード

工業用地に指定されている用途地域。

用途地域：都市計画法第8条に定められており、都市計画区域に定めることができる都市計画のひとつ。用途地域の詳細は、都市計画法第9条に定められている。

工業専用地域：工業の利便を増進するため定める地域。

工業地域：主として工業の利便を増進するため定める地域。

準工業地域：主として環境の悪化をもたらすおそれのない工業の利便を増進するため定める地域。

その他の地域：工業専用地域と工業地域と準工業地域以外の用途地域をいう。

用途地域該当なし：用途地域が該当しないものをいう。

■ 定義域

1：工業専用地域

2：工業地域

3：準工業地域

4：その他の用途地域

9：用途地域該当なし

4.1.6 共通パッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリストをまとめたものである。

なお、工業用地パッケージで使用するコードリストは以下である。コードリストについては、本製品仕様書「1.7 参考資料」の参照先を参照。

- ・ 都道府県コード
- ・ 市区町村コード

4.2 空間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第1.0版 空間スキーマ」を採用する。

4.3 時間スキーマプロファイル

国土数値情報の時間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第1.0版 時間スキーマ」を採用する。

5 参照系

5.1 座標参照系

参照系識別子 : JGD2000 / (B, L)

5.2 時間参照系

参照系識別子 : GC / JST

6 データ品質

品質要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	工業団地
データ品質評価尺度	データ集合内に、原典資料（調査票）が示す工業団地と対応関係がとれない工業団地データが存在すれば、それを過剰なデータとカウントする。
データ品質評価手法	全数検査
適合品質水準	過剰データ数 0 個

品質要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	工業団地
データ品質評価尺度	データ集合内に、原典資料（調査票）が示す工業団地と対応する工業団地が存在しない場合、それをデータの漏れとカウントする。
データ品質評価手法	全数検査
適合品質水準	データの漏れの数 0 個

品質要素	論理一貫性・書式一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合の書式が、整形形式となっていない箇所（XML 文書の構文として正しくない箇所）の割合を計算する。
データ品質評価手法	XML パーサによるチェック
適合品質水準	誤率 0%

品質要素	論理一貫性・概念一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	符号化仕様が規定する XML スキーマに対する、データ集合に存在する矛盾の割合を計算する。
データ品質評価手法	XML バリデータによるチェック
適合品質水準	誤率 0%

品質要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	地物属性の種別区分コード、都道府県コード、市区町村コード、臨海・内陸区分コード、用途地域コードが、応用スキーマが規定する各コードリストの定義域の範囲外にある値を持つ地物の割合を計算する。 誤率 (%) = (定義域の範囲外にある値を持つ地物属性の数 / 地物属性の総数) * 100
データ品質評価手法	検査プログラムによるチェック
適合品質水準	誤率 0%

品質要素	論理一貫性・位相一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	面どうしの重なり、閉じられていない面があればエラーとしてカウントする。 誤率 (%) = (エラー数 / 各データ集合総数) * 100
データ品質評価手法	検査プログラムによるチェック
適合品質水準	誤率 0%

品質要素	位置正確度・絶対正確度
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	地物と数値地図（地図画像）を重ねてディスプレイ上または出力図に表示し、原典資料（調査票）と比較し、位置のズレの最大値を測定する。
データ品質評価手法	全数検査
適合品質水準	図上 5mm(実寸 250m)以内

品質要素	時間正確度・時間測定正確度
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	地物属性の事業完了年が、原典資料に記載されている事業完了年と異なる値を持つ地物の割合を計算する。 誤率 (%) = (原典資料と異なる値を持つ地物属性の数 / 地物属性の総数) * 100
データ品質評価手法	全数検査
適合品質水準	誤率 0%

品質要素	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	地物属性と原典資料に記載されている内容とが一致しない地物の割合を算出する。 誤率 (%) = (内容が一致しない地物属性の数 / 地物属性の総数) * 100
データ品質評価手法	全数検査
適合品質水準	誤率 0%

7 データ製品配布

7.1 配布書式情報

■ 書式名称

JPGIS 第 1.0 版 附属書 8 (参考) XML に基づく符号化規則

■ 符号化仕様

国土数値情報応用スキーマの XML Schema は、JPGIS 第 1.0 版 附属書 8 の符号化規則に従う。また、国土数値情報応用スキーマが参照する基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等の標準スキーマの XML Schema は、JPGIS 附属書 8 に掲載されている XML Schema を採用する。

国土数値情報 (文化財) 応用スキーマの XML Schema は、付属資料を参照のこと。

■ 文字集合

UTF-8

■ 言語

日本語

7.2 配布媒体情報

■ 単位

都道府県単位

■ 媒体名

下記サイトよりダウンロード。下記サイトでは、国土数値情報を無償で一般公開している。

国土数値情報ダウンロードサービス (JPGIS 準拠データ)

URL <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>

8 メタデータ

本製品仕様書のメタデータは、**JMP2.0**を採用する。

国土数值情報（工業用地）製品仕様書 第 1.1 版

付属資料

1 符号化仕様作成のためのタグ一覧

クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名 (属性・関連役割のみ)
工業団地			FD01	—
	工業用地範囲	GM_Surface	DIS	Industry District
	工業用地ID	CharacterString	IID	Identifier of Industry District
	種別区分	種別区分コード	CTC	Category of Code
	工業用地名	CharacterString	INM	Industry Area Name
	地区名	CharacterString	REG	Name of Region
	都道府県コード	都道府県コード	AAC	Administrative Area Code
	市区町村コード	市区町村コード	CCD	City Code
	市区町村名	CharacterString	CNM	City Name
	臨海・内陸区分	臨海・内陸区分コード	SCD	Sea or Inland Code
	事業主体名	CharacterString	DEV	Developer
	事業完了年	Integer	EDY	Ending Year
	全体開発面積	Real	ARE	Area
	工業用地面積	Real	IND	Industry Area
	未利用地面積	Real	UNU	Unused Area
	用途地域	用途地域コード	UCD	Use District Code
	立地企業数	Integer	COC	Count of Company
	立地企業名	CharacterString	COM	Company Name
	特記事項	CharacterString	CMM	Comment

クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名 (属性・関連役割のみ)
単独工場用地			FD02	—
	工業用地範囲	GM_Surface	DIS	Industry District
	工業用地ID	CharacterString	IID	Identifier of Industry District
	種別区分	種別区分コード	CTC	Category of Code
	工業用地名	CharacterString	INM	Industry Area Name
	都道府県コード	都道府県コード	AAC	Administrative Area Code
	市区町村コード	市区町村コード	CCD	City Code
	市区町村名	CharacterString	CNM	City Name
	臨海・内陸区分	臨海・内陸区分コード	SCD	Sea or Inland Code
	業種	CharacterString	CAT	Category of Business
	特記事項	CharacterString	CMM	Comment

2 符号化仕様

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xs:schema targetNamespace="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
  xmlns:xlink="http://www.w3.org/1999/xlink"
  xmlns:jps="http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas"
  xmlns:ksj="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
  xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
  attributeFormDefault="unqualified"
  elementFormDefault="unqualified">
  <xs:annotation>
    <xs:appinfo>KsjAppSchema-W05-V1_0.xsd</xs:appinfo>
    <xs:documentation>国土数値情報(工業用地)第 1.1 応用スキーマの XML スキーマ文書</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <!-- include and import -->
  <xs:import namespace="http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas" schemaLocation="jpsRoot.xsd" />
  <xs:import namespace="http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas" schemaLocation="jpsGrid.xsd" />
  <xs:import namespace="http://www.w3.org/1999/xlink" schemaLocation="xlinks.xsd" />
  <!-- GI -->
  <xs:element name="GI">
    <xs:complexType>
      <xs:sequence>
        <xs:element name="exchangeMetadata" type="jps:ExchangeMetadata" minOccurs="0" />
        <xs:element name="dataset" type="ksj:Dataset" minOccurs="0" />
      </xs:sequence>
      <xs:attribute name="version" type="jps:CharacterString" use="required" fixed="1.0" />
      <xs:attribute name="timeStamp" type="jps:DateTime" use="required" />
    </xs:complexType>
  </xs:element>
  <xs:complexType name="Dataset">
    <xs:sequence>
      <xs:element name="crs" type="jps:ref_RS_CRS" minOccurs="0" maxOccurs="2" />
      <xs:element ref="ksj:object" />
    </xs:sequence>
  </xs:complexType>
  <xs:element name="object">
    <xs:complexType>
      <xs:group ref="ksj:Object" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded" />
      <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference" />
    </xs:complexType>
  </xs:element>
  <xs:group name="Object">
    <xs:sequence>
      <xs:any namespace="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app
http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas" />
    </xs:sequence>
  </xs:group>
```

```

<!-- ===== -->
<!-- データ集合、国土数値情報地物、国土数値情報メッシュ -->
<!-- ===== -->
<!-- ====国土数値情報データ集合パッケージ==== -->
<!-- 国土数値情報データ集合 -->
<xs:element name="AA01" type="ksj:AA01" />
<xs:complexType name="AA01">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="jps:IM_Object">
      <xs:sequence>
        <xs:element ref="ksj:RES" minOccurs="1" maxOccurs="2" />
        <xs:element ref="ksj:OBJ" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded" />
        <xs:element ref="ksj:OBJ-m" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded" />
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="RES" type="jps:ref_RS_CRS" />
<xs:element name="OBJ">
  <xs:complexType>
    <xs:annotation>
      <xs:documentation>国土数値情報データ集合の地物への関連</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:choice maxOccurs="unbounded">
      <xs:any namespace="http://nftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app
http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas" />
    </xs:choice>
    <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference" />
  </xs:complexType>
</xs:element>
<xs:element name="OBJ-m">
  <xs:complexType>
    <xs:annotation>
      <xs:documentation>国土数値情報データ集合のメッシュへの関連</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:choice maxOccurs="unbounded">
      <xs:any namespace="http://nftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app
http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas" />
    </xs:choice>
    <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference" />
  </xs:complexType>
</xs:element>
<!-- 国土数値情報地物 -->
<xs:element name="AA02" type="ksj:AA02" abstract="true" />
<xs:complexType name="AA02" abstract="true">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="jps:IM_Object" />
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<!-- 国土数値情報メッシュ -->
<xs:element name="mAA02" type="ksj:mAA02" abstract="true" substitutionGroup="jps:JP_Grid" />
<xs:complexType name="mAA02" abstract="true">
  <xs:complexContent>

```

```

        <xs:extension base="jps:JP_Grid" />
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>

<!-- ===== -->
<!--                工業用地                -->
<!-- ===== -->
<!-- ==工業用地パッケージ== -->
<!--工業団地-->
<xs:element name="FD01" type="ksj:FD01" substitutionGroup="ksj:AA02"/>
<!--単独工場用地-->
<xs:element name="FD02" type="ksj:FD01" substitutionGroup="ksj:AA02"/>

<!-- =====工業団地===== -->
<xs:complexType name="FD01">
    <xs:annotation>
        <xs:documentation>type of 工業団地</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ksj:AA02">
            <xs:sequence>
                <xs:element ref="ksj:DIS"/> <!--工業用地範囲-->
                <xs:element ref="ksj:IID"/> <!--工業用地ID-->
                <xs:element ref="ksj:CTC"/> <!--種別区分-->
                <xs:element ref="ksj:INM" minOccurs="0" maxOccurs="1"/> <!--工業用地名-->
                <xs:element ref="ksj:REG" minOccurs="0" maxOccurs="1"/> <!--地区名-->
                <xs:element ref="ksj:AAC" /> <!--都道府県コード-->
                <xs:element ref="ksj:CCD" /> <!--市区町村コード-->
                <xs:element ref="ksj:CNM" /> <!--市区町村名-->
                <xs:element ref="ksj:SCD" minOccurs="0" maxOccurs="1"/> <!--臨海・内陸区分-->
                <xs:element ref="ksj:DEV" minOccurs="0" maxOccurs="1"/> <!--事業主体名-->
                <xs:element ref="ksj:EDY" minOccurs="0" maxOccurs="1"/> <!--事業完了年-->
                <xs:element ref="ksj:ARE" minOccurs="0" maxOccurs="1"/> <!--全体開発面積-->
                <xs:element ref="ksj:IND" minOccurs="0" maxOccurs="1"/> <!--工業用地面積-->
                <xs:element ref="ksj:UNU" minOccurs="0" maxOccurs="1"/> <!--未利用地面積-->
                <xs:element ref="ksj:UCD" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/> <!--用途地域-->
                <xs:element ref="ksj:COC"/> <!--立地企業数-->
                <xs:element ref="ksj:COM" minOccurs="0" maxOccurs="10"/> <!--立地企業名-->
                <xs:element ref="ksj:CMM" minOccurs="0" maxOccurs="1"/> <!--特記事項-->
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>

<!-- =====単独工場用地===== -->
<xs:complexType name="FD02">
    <xs:annotation>
        <xs:documentation>type of 単独工場用地</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:complexContent>
        <xs:extension base="ksj:AA02">
            <xs:sequence>

```

```

    <xs:element ref="ksj:DIS"/> <!--工業用地範囲-->
    <xs:element ref="ksj:IID"/> <!--工業用地ID-->
    <xs:element ref="ksj:CTC"/> <!--種別区分-->
    <xs:element ref="ksj:INM" minOccurs="0" maxOccurs="1"/> <!--工業用地名-->
    <xs:element ref="ksj:AAC"/> <!--都道府県コード-->
    <xs:element ref="ksj:CCD"/> <!--市区町村コード-->
    <xs:element ref="ksj:CNM"/> <!--市区町村名-->
    <xs:element ref="ksj:SCD" minOccurs="0" maxOccurs="1"/> <!--臨海・内陸区分-->
    <xs:element ref="ksj:CAT" minOccurs="0" maxOccurs="1"/> <!--業種-->
    <xs:element ref="ksj:CMM" minOccurs="0" maxOccurs="1"/> <!--特記事項-->
  </xs:sequence>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>

```

<!--参照定義-->

```

<xs:element name="IID" type="jps:CharacterString"/>
<xs:element name="CTC" type="jps:CodeType"/>
<xs:element name="INM" type="jps:CharacterString"/>
<xs:element name="REG" type="jps:CharacterString"/>
<xs:element name="AAC" type="jps:CodeType"/>
<xs:element name="CCD" type="jps:CodeType"/>
<xs:element name="CNM" type="jps:CharacterString"/>
<xs:element name="SCD" type="jps:CodeType"/>
<xs:element name="DEV" type="jps:CharacterString"/>
<xs:element name="EDY" type="jps:Integer"/>
<xs:element name="ARE" type="jps:Real"/>
<xs:element name="CAT" type="jps:Real"/>
<xs:element name="UNU" type="jps:Real"/>
<xs:element name="UCD" type="jps:CodeType"/>
<xs:element name="COC" type="jps:Integer"/>
<xs:element name="COM" type="jps:CharacterString"/>
<xs:element name="CMM" type="jps:CharacterString"/>

```

<!-- ===== -->

<!-- (ベクトルデータ) 空間スキーマプロファイルへの参照 -->

<!-- ===== -->

<!-- 空間属性 GM_Point への参照 -->

```
<xs:element name="POS" type="jps:ref_GM_Point"/>
```

<!-- 空間属性 GM_Curve への参照 -->

```
<xs:element name="LOC" type="jps:ref_GM_Curve"/>
```

<!-- 空間属性 GM_Surface への参照 -->

```
<xs:element name="ARE" type="jps:ref_GM_Surface"/>
```

```
</xs:schema>
```